



録画配信の
2次元コード

菅野 淳
創造

地域、学校との連携をもっと密に… 放課後等デイサービス

Q 放課後等デイサービスとは、障害のあるお子さんや発達に特性のある小学生、中学生、高校生が放課後や夏休みなどの長期休暇に通える福祉サービス。日常生活能力の向上、集団生活への適応支援、学習支援、社会性や自立に向けた訓練等を目的とするこの放課後等デイサービスは、市内に17事業所があり、基本的に「療育」や「自立支援」をそれぞれの形態で展開している。地域・学校・事業所が連携し切れ目のない支援を行うことが理想だが、この「連携」に課題がある。連携のために狭山市自立支援協議会子ども部会が作って対象のご家族に配布している「地域連携シート」の活用状況は

A 福祉部長 児童の支援状況を一元的に把握する上で有効なツールだが、任意での提出であることから、その有用性を周知し、より多くの方に提出いただけるよう働きかけていく。

Q 学校との連携では、とある事業所の代表が言うには「学校によって温度差があり、一貫性がない」との指摘も。学校と放課後デイサービスの連携状況は

A 学校教育部長 放課後等デイサービスは民間事業者であることから、児童・生徒が利用していく中で、保護者から学校への協力依頼に基づき、意向に沿って連携を図っている。



地域、学校…切れ目のない連携が鍵



録画配信の
2次元コード

豊泉 正人
健政会

シェアサイクルの拡充を！/ サイバー攻撃への備え

◆シェアサイクルで住民の利便性の向上を！

Q 市内のシェアサイクルや貸自転車は現在どこに何台あるのか

A 市民部長 シェアサイクルは、民間により新狭山駅および西武学園文理敷地内の2カ所にサイクルポートが設置されており、新狭山駅のサイクルポートは40台となっている。また、貸自転車については、狭山市駅西口第1自転車駐車場に3台配置されている。

Q シェアサイクルを公共交通機関の一部として検討すべきと考えるが、市の見解は

A 市民部長 シェアサイクルは公共交通機関を補完する手段として有効だが、ポートの設置場所や運営主体の確保、安全性、事業採算性などの課題がある。そのため、現在は民間事業者の動向を注視している。

◆サイバー攻撃への備えで業務を止めない

Q サイバーセキュリティの取り組み状況は

A 企画財政部長 情報セキュリティポリシーに基づき、通信監視やログ分析で脅威を早期発見するとともに、行政専用回線を使用し、リスクの低減を図っている。マイナンバー業務はネットワーク完全遮断を行うほか、クラウドサービスの利用や業務委託でも安全要件を厳格化するなど、強固な対策を講じている。



新狭山駅シェアサイクルポート

その他のテーマ▶行革推進デジタル戦略担当課長の配置で
さらなる業務改善と市民サービスの向上に期待